



我妻とくお議会レポート

No. 65

ゆきしろ

我妻徳雄事務所

米沢市大字口田沢1308-2

TEL. FAX 0238-31-2212

メール waga1308@ms3.omn.ne.jp

3月議会

市民平和クラブ 「代表質問」

2021年度市政運営方針をただす

3月議会の代表質問において市民平和クラブを代表し「新型コロナウイルス感染拡大対策」「健康長寿を支えるまちづくり」「コロナ禍による生活困窮者支援」「脱炭素社会の実現」「社会体育の推進」などについて質問を行いました。

また、新年度の予算を審議する予算特別委員会では「プラスチックごみの減量化」「森林環境譲与税活用事業」「(仮称)南西中学校の建設場所」など市民ニーズに即した質問、提言を行いました。

コロナ禍 積極的な生活支援を

「とくお」新型コロナウイルスの感染拡大により、雇用や生活への影響が深刻です。生活困窮者への対策を、積極的に進める必要があるのではないのでしょうか。

「産業部長」2月12日現在で、山形県内のハローワークや労働局に、休業に関する相談(いわゆる雇用調整の可能性)が、3190事業所より寄せられています。解雇等の見込み労働者数は、661人となっています。また、民間調査会社が実施した調査によりますと、2020年1月から12月までの期間で、米沢市内事業所で倒産した件数は5件、廃業は45件となっています。



長引くコロナ禍によって、生活困窮の相談は、昨年度より大幅に増加しています。今後、相談員を増やして対応します。地域で活動していただいている民生委員の皆様と連携しながら、支援が必要な方に対し、積極的に情報・支援を届けていきます。

新市立病院の感染症対策は

「とくお」医療機関を受診する際に、患者自らが感染していることに気づかないままに来院し、診察や検査、処置などの過程で感染が判明するということも、実際に起こり得るのではないのでしょうか。受診する市民はもちろん、病院職員の安全を守るためにも、新病院に感染症対策の病棟や、陰圧室などを設置する必要があるのではないのでしょうか。



「病院事業管理者」新型コロナウイルス感染症への脅威や、未知のウイルスへの対応など、将来的な見地や地域性を踏まえ、感染症病床の必要性について検討していきます。新病院の感染症対策として、救急室の中に感染症科外来を設置します。また、院内感染防止のため諸室の配置や職員・患者の導線を見直し、効率性や安全性に配慮した設計に改善します。実施設計ではハイケアユニット(HCU)の個室4室を陰圧室にし、中等症などの感染症患者も、地域の感染状況が逼迫した場合には、受け入れることが可能な構造に改善します。

生活保護「扶養紹介」は本人同意のみ

「とくお」生活保護制度に誤解や偏見が存在し、申請を躊躇される方も多くおられます。生活保護申請者の親や配偶者だけでなく兄弟、孫などの親族に対し、生活の援助が可能かどうかを問い合わせる「扶養照会」をどのように実施しているでしょうか。



「健康福祉部長」扶養義務者の存否確認を行い、保護受給者本人などからの聞き取りにより、扶養の可能性が期待されると判断した場合のみ、扶

養照会を行っています。保護開始後に説明を行って理解を求めてから実施しますので、この件で保護申請から遠ざけるといふ実態はありません。

「フラごみのリサイクル」を考える

我妻とくお 予算委員会質問から

安価で便利なプラスチック製品は社会に欠かせないものになっています。一方でプラスチックは、自然界で分解されず、海洋に流出したり、焼却により地球温暖化の原因となる二酸化炭素を排出したりと、環境問題を深刻化させています。

2018年度のプラスチック廃棄物は、9400トンで、リサイクル率は24.8%、リサイクルと熱回収率を合わせると81.6%です。プラスチック製品には、原料としてプラスチック製品に再生するマテリアルリサイクル、化学的に分解するなどして、化学原料に再生す

フラごみを出さない取組みを

るケミカルリサイクルがあります。使い捨て容器包装等の再資源化などの環境負荷の低減を図り、発生を最小限に抑え、分別や洗浄を徹底して資源として循環させる仕組みづくりが必要です。

リサイクルをするのにも、多くの費用が掛かります。「代替可能なものはできるだけプラスチックを使わない」「使ったプラスチックが環境中に流出しないように適切に処理する」という取り組みが重要です。ごみになるものを買わないなどの発生抑制が大切です。



予算委員会の発言項目

- ◆ 女性管理職の登用
- ◆ 市税徴収の手数料
- ◆ プラスチックごみの減量化
- ◆ 不法投棄の監視体制の強化
- ◆ ナラ枯れ、松枯れ対策
- ◆ 橋梁の長寿命化対策
- ◆ 森林環境譲与税の活用事業
- ◆ 有害鳥獣被害対策
- ◆ 学校給食の給食力の維持向上
- ◆ (仮称) 南西中学校の建設場所の再検討
- ◆ 災害弱者の個別品計画の作成
- ◆ 下水道汚泥の再資源化
- ◆ 下水道事業の効率化と重点計画の推進

代表質問の様子は米沢市議会のホームページから映像で見ることができます

どうだべなあ

●.....

▼東京電力福島第一原発の汚染水処理問題で、地元漁業関係者等の理解を得られないまま、政府は一方的に海洋放出を決めた。さっそく中国や韓国が反発の意を示している▼放出は2年後に開始され完了までに数十年かかるという。長い苦勞の末ようやく本格操業を始めようとしている福島の漁業へのダメージは計り知れない▼避難住民の帰還、街の再生、漁業・農業などへの風評被害、廃炉への技術的な問題などなど、解決されていない問題は山のように残されている

▼福島第一原発事故から10年、事故の処理はまだまだ終わりの見えない闇の中にあると言えるのかも知れない。「アンダーコントロール」この響きの良い言葉に騙されてはいけない(雅)

我妻とくおのホームページ

http://
www3.omn.ne.jp/~waga1308/

議員活動を公開